

★ タバコガ類情報（豆類・野菜類・花き類） ★

タバコガ類の発生状況

- (1) フェロモントラップにおけるオオタバコガの7月第2半旬～第5半旬の誘殺数は、京田辺で0.0頭(平成1.2頭)、京丹後で0.0頭(平成0.1頭)と平成並の発生でしたが、亀岡では65.7頭(平成9.0頭)と**平成比多い発生**でした(表1)。特にオオタバコガの好適な宿主の一つである小豆(写真1左)の栽培が盛んな南丹、中丹地域では、今後のオオタバコガの発生状況に注意が必要です。
- (2) フェロモントラップにおけるタバコガの7月第2半旬～第5半旬の誘殺数は、亀岡で6.3頭(平成5.4頭)と平成並、京丹後で0.4頭(平成1.5頭)と平成比やや少ない発生でしたが、京田辺では4.1頭(平成2.6頭)と**平成比やや多い発生**でした(表2)。
- (3) 大阪管区気象台平成26年7月31日発表の向こう1か月の近畿地方の気象予報では、気温は平成並と予想されています。8～9月は**タバコガ類の発生、増殖に好適な高温条件が続くため**、現在、平成並の発生であっても、世代交代が進むとともに発生量が多くなり、大きな被害が出る事が予想されます。
- (4) 山城地域のナスでオオタバコガの多発ほ場を確認している(被害果率約30%、写真1右)。

防除上の留意点

- ほ場を見回り、若齢幼虫の早期発見に努めてください。また、一度防除した場合でも、成虫が飛来し再び産卵する場合がありますので、防除後の発生にも十分注意してください。
- 齢が進んだ幼虫は薬剤の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要です。
- 野菜・花きの施設栽培では、開口部に防虫ネット(4mm目合い以下)を展張し、成虫の飛来・侵入を防止してください。
- 小豆では子実害虫類(アズキノメイガ、マメノメイガ、サヤムシガ類など)、ハスモンヨトウ等の発生にも注意してください。
- 農薬を使用する際には、使用基準を遵守して適正に使用してください。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬登録情報検索システム」をご覧ください(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>)。

表1 フェロモントラップ誘殺数(オオタバコガ)

調査年	設置場所		
	京田辺	亀岡	京丹後
H26 (平成比較)	0.0 (並)	65.7 (多い)	0.0 (並)
平成値	1.2	9.0	0.1
H25	0.6	2.4	0.0
H24	0.0	13.4	0.0
H23	6.1	10.9	0.0
H22	2.3	3.8	0.0
H21	0.4	22.0	0.0
H20	0.0	10.3	0.0
H19	3.0	18.0	0.0
H18	0.0	0.0	0.0
H17	0.0	1.0	1.0
H16	0.0	8.0	0.0

表中の数値は、7月第2半旬～第5半旬の合計値(頭)

表2 フェロモントラップ誘殺数(タバコガ)

調査年	設置場所		
	京田辺	亀岡	京丹後
H26 (平成比較)	4.1 (やや多い)	6.3 (並)	0.4 (やや少ない)
平成値	2.6	5.4	1.5
H25	7.0	8.0	1.4
H24	1.0	4.6	0.8
H23	3.9	7.0	2.9
H22	2.5	2.6	0.0
H21	2.9	6.8	2.0
H20	3.9	8.8	3.0
H19	1.0	3.0	2.0
H18	2.0	0.0	0.0
H17	1.3	1.0	0.8
H16	0.7	12.0	2.3

表中の数値は、7月第2半旬～第5半旬の合計値(頭)



写真1 小豆の莢(左)、ナスの果実(右)を食害するオオタバコガ幼虫(矢印)